

鎌倉市市民活動センター指定管理者 自己評価シート兼実績評価シート

施設名	鎌倉市市民活動センター(鎌倉・大船)
所在地	鎌倉センター: 鎌倉市御成町18-10 大船センター: 鎌倉市台1-2-25
指定管理者	名称: 特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議 代表者: 石川 勝己 住所: 鎌倉市腰越五丁目16-12
担当課	市民防災部地域のつながり課
指定管理期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
評価対象期間	令和3年7月1日~令和3年9月30日

評価内容				
評価項目番号	指定管理者自己評価		担当課による評価	
	評価	根拠	評価	根拠
1	A	団体への公平な場の提供を目指し、10月から鎌倉センター2階会議室のフリースペース化を試験運用する。その内容をパートナーズ同封チラシの送付とメール送信で全登録団体に告知した。	B	引き続き感染予防対策を実施し、運営している。 オンライン予約に関するニーズ調査を開始したとのことなので、今使用している団体のみの意見だけではなく、その他の登録団体やこれから取り込みたい層のニーズを踏まえ調査し、予約システムの改善を検討していただきたい。また、一元的にオンライン化することではなく、併用していくことでICT活用の機会を増やし、若年層の活動団体の利用促進にも努めること。 今期実施した内容に対して、利用者の便宜が向上した等の具体的な特筆すべき成果は見受けられず、評価指標Aに該当するとは認められないため、B評価とする。次期に実施するフリースペース化の試験運用では、利用者の声や、その他登録団体のニーズを調査しつつ進めていただきたい。

2	A	利用者減少に伴い、印刷機利用者に対するよりきめ細やかな個別対応を心がけ、帳合い、小冊子、ソートなど原稿に最適な印刷メニューの提案を行うようになった。	B	支障なく業務を遂行している。印刷機利用者への個別対応は通常業務の延長の範囲内であり、事業計画の進捗及び成果について、評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。
3	A	7月にサイトの全面リニューアルを行った。全登録団体の掲載内容を確認、活動がわかる画像の提供や情報の更新など一気に団体情報を刷新して運用を開始した。	B	<p>HPが刷新され、団体の登録情報も更新されている。団体のデータベースの活用として、HP等で登録団体情報を掲載することとしているが、HP等を作成することが困難な団体の情報発信の場としての紹介という面からみると、(確かに登録団体情報は更新されているものの、)掲載されている情報は一般的な登録内容及び活動内容のみであると見受けられるので、今後の取り組みに期待する。</p> <p>また、各活動の「見える化」として計画の報告があった(令和2年度連絡調整協議会)、市内の活動のHP上での記事化についての進捗が伺えない。「登録団体紹介のページに新鮮な情報を掲載する＝登録団体ページの更新」ということと並行し、「市内でどのような市民活動が行われているかの情報発信＝記事化」も計画的に進めること。</p> <p>団体情報は更新され、支障なく業務を遂行しているが、事業計画の進捗及び成果について、評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。</p>

4	A	<p>サイトのリニューアルに伴い、情報更新の方法を変更、スタッフ全員が更新できるようになったため、収集した助成金情報などをサイトへアップするまでの時間が大幅に短縮された。</p>	B	<p>助成金情報をはじめ、講座・講演会情報を適切に収集している。</p> <p>支障なく業務を遂行しているが、事業計画の進捗及び成果について、評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。</p>
5	A	<p>9月パートナーズ100号を発行。次号以降の紙面作りに反映させるため、同紙でセンターの広報全般に関するアンケートを呼びかけた。アンケートの回収はgoogleフォームを利用して行う。</p> <p>FM かまくら(月1回ペースで計3回)、タウンニュース(不定期ながらも3カ月で計5回)の掲載などを通じて市民活動の広報を行った。</p>	A	<p>HP及びFacebookにおいて積極的に収集した情報を公開していることが確認できる。</p> <p>集計したデータベースの活用としても、適切な団体へ適切な情報が届くようメール配信を登録情報に合わせて実施している。広報誌において団体の活動の内容や展望が記載されており、また、その他メディアも活用し効果的に情報の発信が実施されている。</p> <p>今後も継続した情報の配信、効果的な情報発信に期待している。</p>
6	A	<p>フェスティバルに向けたパネルの制作講座と助成金申請書の書き方講座を行った。両講座とも参加者の満足度が高く、アンケートによる評価はAであった。講座の直後に早速参加者から「かまくらファンド」への応募申請があり、効果は顕著であった。</p>	B	<p>講座内容について、助成金申請書の書き方講座の参加者は2名と少ないため、指定管理業務として実施する以上は、一部の団体だけでなく、広く団体活動に有用な知識・技術の習得となるように、告知の方法や講座内容を検討すること。今回は、告知から実施までの時間的ゆとりがなかったため、計画から実施まで余裕をもって実施すること。</p> <p>パネル製作講座に関しては参加者数及び評価も概ね良好であったため、残り2回の講座も効果的なものとなるよう計画すること。</p> <p>講座の開催により一定の評価が得られたが、評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。</p>

7	A	<p>市内の3校と連携し、夏休みの高校生ボランティア活動のマッチングを行い約100名のボランティアを10団体に仲介した。昨年、今年とコロナで課外活動が満足にできない状況であり、学校側からは大変感謝された。</p>	B	<p>鎌倉生涯学習センターで10月に開催を予定していた市民活動フェスティバルについては、9月の段階で開催を断念することになったものの、11月の屋外での開催に向けて方針を変更するなど、団体の活動発表と活動への参加機会の提供のために注力している。</p> <p>また、コロナ禍において夏休みのボランティアのマッチングも感染予防対策施した上で効果的に実施できた。</p> <p>しかし、第1四半期にも指摘した社協との連携に関しては未だ進捗がなく、事業計画から大きく遅れが生じているため、指定管理期間の最後の年であることを自覚し、適切なアクションを取るなど、事業計画の遂行をすること。</p> <p>支障なく業務を実施しているが、事業計画の進捗及び成果について、評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。</p>
8	A	<p>「鎌倉の森、里山の環境保全」をテーマに利用登録団体懇話会を開催し、関係団体の抱える悩み、ニーズ等の共有を図った。</p> <p>森林保全に取り組む団体のネットワーク「森のプラットフォーム」を結成し、合わせて団体間の情報共有・市民への情報発信ツールとしてのサイトを開設し運用開始した。</p>	A	<p>第2回の懇話会を実施し、「森」をテーマとした団体間の交流を目的とした「森のプラットフォーム」を創り、ネットワークの促進に努めている。</p> <p>一方で、自治会・町内会との連携・交流の部分では、対話推進の事業計画が未着手のままであるが、下半期のスケジュールに示されたため、計画的に実施すること。</p>

9	B	<p>スタッフの相談対応レベルを均質化するため、スタッフ会議などで一般相談の事例紹介をし、その対応について皆で話し合い共有化している。</p>	B	<p>一般相談に関しては Q&A を活用するとともに、各スタッフ間で情報を共有し、誰でも基本的な相談について対応できる体制を整えている。</p> <p>専門相談体制については、パンフレットの作成も完了しているため、専門相談体制が確保されたことの周知もしていただきたい。</p>
10	A	<p>次期の相互提案協働事業のタネを発掘するため、鎌倉市の主要課題である「多文化共生」を活動のテーマとする団体へアンケート調査を行った。</p>	B	<p>来年度以降の協働事業の提案促進に向けた取り組みとして期待している。</p> <p>年度末に企画されている企画力アップ講座の計画を進めるにあたっては、「協働はそれ自体が目的ではなく、お互いが共通の目的を達成するための手段」ということを踏まえた協働事業の企画力アップを図り、今年度事業計画にある、提案の実現性を上げるための講座を検討していただきたい。</p> <p>取り組みには期待しているが、現時点では、評価指標 B「協働事業提案に係る講座の開催や事前相談の充実等、協働事業の促進に寄与する事業を行った」の範囲内での取り組みであり、評価基準 A の「B の基準を満たした上での特筆すべき成果」までは認められないため、B 評価とする。</p>
11	A	<p>新人スタッフを 3 名採用した。これを機にスタッフ全員が関わって業務マニュアルの見直しを行ない、現状に則した内容に改定した。</p>	B	<p>刷新した HP の更新等の方法を少人数グループで教え合うなどしている。</p> <p>スタッフのレベルアップを図り講座等への参加を行っているが、業務改善・利用者の便宜向上・業務効率向上等の特筆すべき成果があったとは言えないため、B 評価とする。</p>

12	A	Zoom 会議などで 5 台以上の端末をつなぐと 2 階会議室の Wi-Fi の環境が悪くなることが判明し、新たな回線をひく工事を計画した(10 月中に完了予定)。これにより、会議室の利用環境が改善する見込み。(緊急対応策として 2 回にわたりレンタル Wi-Fi で対応したところ相当な効果があることを確認した。)	B	<p>事業の項目のそれぞれに一部遅れが認められる。第 1 四半期終了時にも指摘しているが、今年度は第 4 期指定管理期間の最後の年であり、その期間も残り半年となっている。指定申請時の 3 年間の計画を、やり残しの無いように計画を立てて確実に実行していただきたい。</p> <p>また、指定管理期間終了時には、「施設等を原状に回復」し、「協定期間の当初の状態で引き渡す」必要があるため、インターネット回線工事については注意して実施すること(センター条例第 7 条、基本協定第 26 条第 3 項)。</p> <p>今期実施した内容については、前四半期と同等のサービスの提供がなされているが、業務改善と特筆すべき成果は認められないため B 評価とする。</p>
総合評価				
担当課による総合評価※	B	総評	<p>各事業項目において進捗のある部分とない部分が混在しており、評価にあたっては評価項目における事業全体を考慮しています。このため、大きく進捗のあった項目においても A 評価とならないことがあります。進捗の遅れている部分にも目を向け、事業計画の遂行及び評価をお願いします。</p> <p>月次報告書により業務の進捗状況の確認を行っていますが、事業計画に対する実施状況の報告が不足しているケースが見受けられます。計画的に指定管理業務を実施するためにも、月次報告等により進捗管理を行い、組織内でも共有してください。</p>	

※C=1、B=2、A=3とし、平均点により算出する。C:1 以上 1.7 未満 B:1.7 以上 2.4 未満 A:2.4 以上 3 以下

評価の指標

※評価点の基準を満たすことが客観的に判断できる資料等をできる限り提示すること。

例1：番号1 A評価「オンライン予約を可能にした。」の場合→客観的に判断できる資料として、「オンライン予約ページ」を提示する。・・・等。

B評価、C評価→利用者集計表を提示。・・・等。

例2：番号3 A評価「既存の市民活動団体の情報について、一斉に各団体に確認作業を行い最新にした。」の場合→「各団体への通知文及び更新前後の団体情報一覧」を提示する。・・・等。

B評価、C評価→登録団体一覧表(ダイレクトリ)を提示。・・・等。

番号	評価項目	評価点の基準
1	ミーティングスペース、作業スペースなどの空間と機能の提供に関すること。	<p>A：Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B：支障なく業務を遂行した。又は、問題が発生したが、適切に対処し施設運営に大きな影響がなかった。</p> <p>C：問題が発生し、施設運営に影響があった。</p>
2	コピー機、簡易印刷機などの機材の利用受付に関すること。	<p>A：Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B：支障なく業務を遂行した。又は、問題が発生したが、対処し施設運営に大きな影響がなかった。</p> <p>C：問題が発生し、施設運営に影響があった。</p>
3	市民活動団体の団体情報の収集に関すること。	<p>A：Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B：アウトリーチ等による十分な情報の収集を行い、スタッフ間で情報の共有、整理・分析がなされ、支障なく業務を遂行した。</p> <p>C：十分な情報の収集、共有、整理・分析が行えなかった。</p>

4	市民活動団体の活動にとって有用な情報の収集に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: アウトリーチ等による十分な情報の収集を行い、スタッフ間で情報の共有、整理・分析がなされ、支障なく業務を遂行した。</p> <p>C: 十分な情報の収集、共有、整理・分析が行えなかった。</p>
5	情報誌やインターネット、SNS等を活用した3、4等の情報の提供に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: パートナーズの発行(発行のタイミングであった場合のみ)、地下道ギャラリー等(展示のタイミングであった場合のみ)、ホームページ、SNSにより、利用者にとって有用な情報を効果的に提供した。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>
6	市民活動団体の活動にとって有用な知識・技術を習得するための、学習や研修の機会の提供に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 研修対象者が明確であり、事業計画に従って市民活動の参考になる学習や研修の機会の提供、又は企画を行い、参加者から一定の評価が得られた。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>
7	市民活動への参加希望者への情報提供や、市民活動への参加の機会の提供に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 市民活動団体の活動情報(イベント等)の効果的かつ的確な発信による情報提供、市内の学校や近隣大学と連携した若年層のボランティア活動支援、市民活動フェスティバル(開催のタイミングであった場合)の活用等により、市民活動への参加の機会を創出した。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>

8	市民活動団体が、各種団体（市民活動団体や自治・町内会、企業等）と交流及び連携する機会の提供に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 日々の相談業務に係るコーディネート、事業計画に沿った懇話会の開催、市民活動フェスティバル（開催のタイミングであった場合）の活用等により、各種団体と連携、交流する機会を提供した。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>
9	市民活動に関する相談に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 電話・窓口相談を適切に記録し、スタッフ間で共有するとともに、相談事例の整理・分析や専門家相談の実施により、相談業務の充実を図った。また、相談業務に係る研修を実施し、スタッフのスキル向上を図った（実施のタイミングであった場合）。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>
10	市民活動団体と市の相互提案協働事業及び協働事業全般の促進に関すること。	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 協働事業提案に係る講座の開催や事前相談の充実等、協働事業の促進に寄与する事業を行った。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>
11	その他（スタッフのレベルアップのための研修、学習会を開催した。）	<p>A: B の基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 事業計画に沿って研修等を開催した。また、研修等を通じてスタッフのレベルアップが図られた。</p> <p>C: B の基準を満たさなかった。</p>
12	その他	<p>A: その他、業務改善に努め、特筆すべき効果があった。</p> <p>B: 前四半期と同等の水準のサービスを提供した。</p> <p>C: B の基準に満たなかった。</p>